

論壇

高度な技能も置き換え

AI（人工知能）が大変なスピードで進化している。これまで人間がやってきた仕事をAIに置き換えることを考えている企業は少なくない。大企業だけでなく、中小企業でも、そうしたAIの利用にチャンスを見いだしている企業が多い。私が知っている中小企業の経営者の中にも、AIを活用してこんなビジネスに取り組みたいと話すがたくさんいる。

金融の世界ではAIによって運用のサポートをするサービスがすでに提供されている。企業の業績

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

AIによる「産業革命」

を評価するアナリストのリポートをAIに書かせる実験をしている金融機関もある。翻訳でも、完璧な翻訳は難しくても、下翻訳としての能力は十分だ。私が英語でリポートを書く場合でも、英語でいきなり書くより、Google翻訳で日本語を英語に訳してもらい、それを修正した方が時間が短く済む。

近い将来は、税理士や公認会計士の仕事もAIにだいたい置き換わる可能性が高い。膨大な資料を整理し分析して、それで報告書を書く。これが税理士や会計士の仕事であるが、その作業の多くをAIがこなしてくれる。介護のケアマネジャーの仕事もAIに置き換えられる部分が多そうだ。医療の世界でも検査データなどを見ながら病状を診断することをAIに任せる研究が世界的に進んでいる。

このようにAIに取って代わられそうな仕事や技能を並べてみると、その中には単純労働だけ

返ってみると、今起きていることの意味がよく見えてくる。産業革命以前の最も花形の仕事は肉体労働であった。製造の現場でも物流の現場でも、力のある労働力が最も重宝されたからだ。

技術革新で働き方一変

しかし、蒸気機関などが発明され、機械が労働現場に入ってくる、重いものを運んだり加工したりする仕事は、肉体労働者から機械に移ってしまった。力持ちであった肉体労働者の社会的価値は下がってしまったのだ。怒った労働者が自分たちの仕事を奪うのは許せない、機械の打ち壊し運動を行った。その気持ちはよく分かる。だからといって機械を壊すことで社会の変化の流れを止めることが

できたわけではない。

機械が肉体労働の仕事を奪ったように、AIは多くの専門家の仕事を奪うことになる。かつて肉体労働者が感じた不安や憤りと似た気持ちを持つようになる専門家も少なくないはずだ。ただ、産業革命によって人間の仕事がなくなっただけではない。機械を利用することで、多くの人々の所得機会は増え、そして辛い肉体労働から解放された人も多い。

AIは仕事の一部を奪うだろうが、AIをうまく活用すれば私たちの働き方を変えて、より有意義な時間の使い方ができるはずだ。そのためには、多くの人がこの技術革新を受け入れ、それがもたらす変化に対応することが必要となる。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。